

防災 の ススメ

身近な日用品で、簡単手作り防災グッズ

自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。被災時に一番困るのが、普段不自由なく行われている『衣・食・住』の部分。災害による急な生活環境の変化によって、生活必需品が手に入りにくい状況が発生するケースを普段から想定しておくことも大切です。特に、小さなお子さんをお持ちの方にいざというときの簡易的な代理品や、役立つ情報をピックアップしてみました。

衣

簡易おむつ

～ ビニール袋とタオルで、おむつの作り方 ～

災害時のおむつが手に入らない時の緊急処置として身近なものでおむつを作ります。

用意するもの

- ・ビニール袋（スーパーのレジバッグが◎）
- ・タオル
- ・はさみ



作り方

- ・レジバッグの両脇をはさみで切って広げる
- ・広げた袋の上に、畳んだタオルを置く
- ・袋の両脇を赤ちゃんの両モモに結び、おむつ状に形を整える



POINT

おむつはあくまでも簡易用です。横漏れなども生じますので注意してください。また通気性が悪いため、適度におしりを外気に当てるなどして、ムレやカブレを防ぎましょう。

大きめのビニール袋を使えば、介護用の簡易おむつや、女性の生理用品にもなりますが、あくまでも代用品。飲み水や食糧の準備と一緒に、普段から家族に必要なものをチェックしておくことが大切です。

食

簡易ランプ

～ ツナ缶を利用したランプの作り方 ～

災害時の停電対策と非常食の備蓄を兼ねられる、ツナ缶ランプの作り方を紹介します。

用意するもの

- ・ツナ缶
- ・ティッシュペーパー
- ・缶切り
- ・はさみ



作り方

- ・芯になるようにティッシュペーパーを丸める
- ・ツナ缶の裏中央に缶切りで穴を開ける
- ・ティッシュで作った芯を穴に入れ、点火



POINT

ツナ缶が1時間燃え続けるランプに変身、もちろん燃焼後はおいしく食べられます。

住

簡易赤ちゃん用お風呂 ～ 段ボールとポリ袋でベビーバスの作り方 ～

段ボールとポリ袋があれば、赤ちゃんの体を洗うお風呂として使えます。

作り方

- ・段ボールにポリ袋をすっぽりかぶせる
- ・水が漏れないように袋を重ねる

用意するもの

- ・段ボール ・ポリ袋 40ℓ

POINT

ベビーバスだけでなく、断水時に水をためておく貯水タンクやバケツの代わりにも使えて、大変便利です。

